

「この町にやって来た私達が 学び、考え、創造する 地域の未来」



東日本大震災被災地などの各地で、災害を後世に伝えるための遺構整備が行われており、大熊町の中間貯蔵施設内における施設でも、検討がはじまりました。「保存」か「解体」か単純な二択ではなく、より多様な意見や想いが共有されることを目指して、意見交換の機会として開催します。

震災後に大熊町で暮らし始めたお二人より、大熊町の今とこれからの地域づくりについてお話しいただき、熊町小学校の今後についてまちづくりの視点から考えます。

8/9(日)

10:20-12:20 事前フィールドワーク

14:00-16:30 ワークショップ

開催場所：学び舎ゆめの森 サブアリーナ

☆右のQRコード又は、メールにて要申し込み

☆参加無料



一般社団法人 大熊未来塾（担当：義岡）

〒979-1303 福島県双葉郡大熊町大字熊川字久麻川 8 0 番地

電話 080-1472-3763 / メール okuma.future@gmail.com

登壇者の紹介 /



阿部翔太郎
(株式会社 ReFruits)

2001 年神奈川県横浜生まれ。大学在学中のサークル活動をきっかけに、大熊町のキウイ再生に取り組む株式会社 ReFruits を 2023 年に創業、2024 年より大熊町に居住。



石井美優（デザイナー）

大学後、修士論文をきっかけに大熊町へ移住。現在は、“ある人にとっては不要なもの”を集めてそれだけで生活すること、またガラクタを材料にして建築物を作ることを試みている。

※本事業は、大熊未来塾が取り組む 3.11 メモリアルネットワーク基金助成事業、Civic Force「NPO パートナー協働事業」として実施します。
※本事業は、福島大学が受託する福島県委託事業として実施します。

主催：おおくまふるさと塾、(一社)大熊未来塾、福島大学地域未来デザインセンター 後援：大熊町、大熊町教育委員会